

NUMAZU LIONS CLUB

LION

Message

今、献眼を考える

献眼運動推進チーム L. 土屋英治



“温故知新” 広げよう真心の奉仕



NUMAZU LIONS CLUB

会報

No.756 www.numazu-lionsclub.jp

05

May 2019

MESSAGE

献眼運動推進チームレポート

「今、献眼を考える」

L. 勸山がご逝去されて早6ヶ月が経とうとしています。沼津ライオンズクラブにて発足された献眼運動推進チームでは新たな奉仕、これからの献眼について模索を続けてきました。

献眼運動推進チーム発足

さ かのぼること、一昨年の10月、当時の視力福祉委員会が「いま、献眼を考える」と題し、例会を開催しました。その中で日本アイバンクが作成した「ヒ・カ・リ Relay of light」を上映しました。【突然の妹の死に直面した兄を献眼コーディネーターが献眼の意義を伝え、当初献眼に反対していた兄の心を動かす】と言った内容に、新たな献眼運動の方向性がかすかに見えたように思います。そしてこのビデオに刺激を受けた2017-2018年度会長、L. 大川の声掛けにより、献眼運動を活性化させるための継続事業として「献眼運動推進チーム」を立ち上げることになりました。

チームリーダーとして視力委員会の経験者である私が指名され12名のメンバーでスタートしました。現在ライオンズクラブは単年度で委員長が変わってしましますが、この献眼運動推進チームは複数年で取り組むことが決まっており、数年のうちにさらなる展開が可能な方向性を見つけたいと考えております。



今、献眼を考える



献眼運動推進チーム
チームリーダー
L. 土屋英治

新たな活動のための模索

こ 存知の通り沼津ライオンズクラブの故L. 勸山が献眼運動に立ち上がり現在で半世紀を超えました。沼津ライオンズクラブの中心的なアクティビティとして献眼活動は続いておりますが、継続事業的な沈滞感もあり献眼者数も年々減少傾向であります。我々ライオンズクラブがすべき啓蒙活動を見直す時期が来たと感じる次第です。献眼運動の活性化の為に我々ライオンズクラブに何ができるのかを見つけたいと考えております。

そのためにすべきこと、まずは現状を認識し、その上で献眼者を増やすこと。また、視力福祉とは何なのか、新たな時代において献眼という行為だけではないのか。あらゆる視点から何をするべきか、考えなければいけないと感じております。まずは現状の調査研究そこからやるべきことの選定を行って参りたいと思っております。献眼運動推進チーム・チームリーダー L. 土屋英治

献眼運動推進チームの活動



アイバンク登録のご案内



発足よりこれまで、多くの有識者に面会し知識を深めてきました。その知識をもとに、これからは何をすべきか活動指針を決めていく時期にきていると考えています。

2018/3/16

第1回 献眼運動推進チーム委員会開催

新たな奉仕の形を見出すため。まずはメンバー内での知識の共有。以下調査内容についてそれぞれ調査開始。

- 各種コーディネーターの種別調査とそれぞれの資格要件について
- 角膜センターの訪問とアイバンクコーディネーター育成の可能性
- 静岡県アイバンクについて
- 地元医療機関との連携
- 他ライオンズクラブにおける献眼運動について
- 献眼ご遺族、摘出医師など関わる方へのフォローについて

2018/5/15

公益財団法人 静岡県アイバンク 訪問 浜松医科大学医学部附属病院内

何ができるかを原点に戻り確認するため、アイバンクの現状及び経過についてお話を伺った。

2018/4/5

御殿場ライオンズクラブ 訪問 小山ライオンズクラブ 訪問

2018/5/30

第2回 献眼運動推進チーム委員会開催

2018/6/27

東京歯科大学市川総合病院 角膜センター・アイバンク訪問

全国的にも献眼、そして角膜移植について最先端をいく角膜センターに訪問。現在の状況、これからの方向性について指摘して頂いた。

2018/7/23

第3回 献眼運動推進チーム委員会開催

2018/10/12

第4回 献眼運動推進チーム委員会開催

2018/11/8

順天堂大学医学部附属静岡病院 眼科医 土至田先生勉強会開催

角膜移植の現状、これからの角膜医療についてなど最先端の医療技術情報と現在の献眼運動のあり方についてのご意見を伺う。

2018/11/8

地元眼科開業医 4先生との意見交換会開催

実際に摘出に携わる側のご負担や、献眼運動に対するご意見、ご要望をお伺いする。

2018/12/4

第5回 献眼運動推進チーム委員会開催

勉強会、意見交換会を終えて、今後の展開。可能な活動内容をリスト化し、選択作業に入る準備

2019/1/15

第6回 献眼運動推進チーム委員会開催

2019/2/6

静岡県立沼津視覚特別支援学校訪問 視覚特別支援学校の現状認識と我々に求める奉仕活動の調査。

2019/3/20

第7回 献眼運動推進チーム委員会開催

現在に至る

これから……

I 献眼運動の新たな展開

これまでの献眼運動を継続して展開。さらに献眼登録者へのフォロー、献眼者ご遺族へのフォローなど啓発活動を SNS なども含めた「目につく」ための活動が必要。

II 視覚障害者への奉仕活動

視覚支援学校など視覚障害者の方に向けた奉仕活動。(例) 静岡県立沼津視覚特別支援学校への部活動道具類の支援、点字ブロック修理などの支援を検討。

III 医療機関との情報交換や支援活動

先端医療技術の情報収集を行い、視力福祉に寄与する奉仕活動。(例) 順天堂大学医学部附属静岡病院へ眼科医療機器の支援を検討。

献眼運動とらわれず「視力福祉」として

献眼運動推進チームとして立ち上げたチームではありませんが、調査検討していくなかで、視覚障害に関わる多くの方々が支援を必要としていることがわかってきました。令和の新時代の幕開けに相応しい奉仕とは、献眼登録に代表される角膜移植のみに固執するのではなく、視力福祉全体に関するすべての奉仕活動に取り組み、結果として開眼者を増やすことや視覚障がいを持つ方々が安心して暮らせる社会を築くことが我々に求められていると思います。沼津市が献眼運動発祥の地として視力福祉の最先端の町となるためにも、まずは沼津ライオンズクラブがその先頭にたち、多角的な展開をしてゆきたいと思います。

新たな1年を迎え、さらなる飛躍を目指す

1月-3月例会報告

後期の始まりはアクティビティにあふれる3か月となりました。ワークショップの実施、ITを駆使した事業の提案、環境保全による芝桜などに活気あふれる例会が続きました。



新年例会 1月第1例会

1月7日沼津リバーサイドホテルにて、新年初の例会が行われました。小原会長より新年のご挨拶があり、後期も「温故知新」 広げよう真心の奉仕」のもとクラブメンバー全員が一丸となって奉仕し続けようという一層の飛躍を誓いました。そして今年は古稀が2名、年男が6名と8名のおめでたいローアをいただき、鏡開きや「なんくる」演舞と華やかに新年の幕明けを祝いました。



1 古稀のお二人、L. 前田、L. 赤堀によるローア。おめでとうございます。2 新年新たな決意を語る小原会長。今年はより一層の奉仕活動を行っていくことを誓いました。3 小原会長、L. 赤堀、L. 大川の3名による鏡開き。静岡のお酒「花の舞」が用意されていました。4 計画大会委員会による司会進行。榊原委員長、お疲れ様でした。5 琉球音楽の演舞、そして演奏に心も温かな気持ちに。6 L. 野田、L. 柏木、L. 橋本、参加者の年男たちによるローア。7. メンバー同士の親交を深め、今年もより一層の奉仕活動を誓い合いました。

年男

L. 芹澤明寛 1947年4月13日生	L. 土屋恭博 1959年2月22日生
L. 野田金次郎 1947年12月3日生	L. 土屋英治 1959年3月26日生
L. 柏木雅博 1959年2月11日生	L. 橋本賢一 1959年3月29日生

古稀

L. 前田利定 1949年3月13日
L. 赤堀肇紀 1949年7月27日

2018-2019 年前期 決算報告・監査報告 1月第2例会

1月17日沼津リバーサイドホテルにて、1月第2例会が行われました。会計 L. 服部厳一郎による前期決算報告および、監査委員 L. 土屋英治による監査報告があり、前期決算が承認されました。また、2018年9月入会の新会員スピーチも行われました。



1 会計 L. 服部厳一郎による 2018-2019 年度前期決算報告。メンバー全員により承認されました。2 2018年9月入会の新会員によるメンバースピーチが行われました。L. 石井博文、L. 藤川一郎の新会員2名によるスピーチ。自己紹介に加え、それぞれのライオンズクラブへの想いを語ってくれました。

MC委員会担当例会 2月第1例会

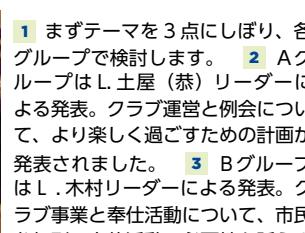
2月7日沼津リバーサイドホテルにて、MC委員会による2月第1例会が行われました。334複合地区IT専門委員であるL.池谷勝による講演が行われました。これからのライオンズクラブにおける展開について、IT技術を取り入れながら展開していくその取り入れ方、さらにITを駆使することによる効率化についてスライドを使った講演をしてくださいました。



1 334 複合地区 IT 委員であり、沼津千本ライオンズクラブ所属のL.池谷による講演。「ライオンズクラブ事業の運営におけるIT利用、現況について」と題し、スカイプ（無料通話ツール）の取扱い方、そしてツールを使ったITによる効率化を訴えました。2 MC委員会によるローア。北村委員長お疲れ様でした。4 お世話になっている沼津リバーサイドホテルの岩崎さんが結婚。メンバー全員でお祝いしました。おめでとうございます。

会員(GMT)委員会担当例会 2月第2例会

2月21日沼津リバーサイドホテルにて、会員(GMT)委員会による2月第2例会が行われました。委員長L.後藤による説明から始まった例会。「CQIワークショップ」を実施しました。「CQIワークショップ」とは、クラブ活性化計画であり、クラブ運営の在り方を改善する方法を見つけるためのものです。



1 まずテーマを3点にしぼり、各グループで検討します。2 AグループはL.土屋（恭）リーダーによる発表。クラブ運営と例会について、より楽しく過ごすための計画が発表されました。3 BグループはL.木村リーダーによる発表。クラブ事業と奉仕活動について、市民参加型の奉仕活動の必要性を訴えました。4 CグループはL.清水リーダーによる発表。ITやSNSを駆使した活動を訴えました。5 DグループはL.橋本リーダーによる発表。会員増強について、情報収集とマニュアル作成の必要性を訴えました。6 EグループはL.土屋（英）リーダーによる発表。例会の活性化について具体的な施策立案がありました。

総括

5グループ（ベテランから若手を組み合わせた5-6名）で例会にてワークショップを実施しました。各グループでテーマを1つ選び、リーダーを中心にディスカッションし行動計画を立案しました。短い時間でしたが各自積極的に意見を出し合い、内容の濃い討議ができました。各グループの行動計画はクラブの運営・事業・活動の参考にしてください。

（3月第1例会 CQIワークショップの報告 より）

テールツイスター担当例会

3 月第 1 例会

3 月 7 日沼津リバーサイドホテルにて、テールツイスター L. 土井による 3 月第 1 例会が行われました。新会員となる L. 長橋、L. 三須、L. 小野 3 名の入会式、そして MJF 献金者への LCIF ライオンズサポーターピン、MJF ピン・盾の贈呈に始まった例会。食事の後はテールツイスター L. 土井による「和菓子の世界」という専門家による興味深い講話が行われました。



1 新会員 L. 三須王左武へのライオンズピン贈呈。スポンサー L. 後藤により行われました。2 新会員 L. 小野義仁。スポンサー L. 後藤によりライオンズピンが贈呈されました。3 新会員 L. 長橋良。スポンサー L. 前田利定よりライオンズピンが贈呈されました。4 テールツイスター L. 土井による講演、「和菓子の世界」。長年沼津市民に愛され、美味しいお菓子を届け続ける御菓子処 雅心苑の代表である L. 土井。専門家による和菓子の解説はとても興味深く、メンバー全員引き込まれる内容でした。5 MJF 献金者によるローア。6 新会員、そしてスポンサーによるローア。7 新会員 3 名による宣誓。沼津ライオンズクラブにも新しい風が入り、変革の時代の訪れを感じます。

MJF 献金者

L. 土屋誠司 (24 回目)
L. 足立吉松 (10 回目)
L. 大古田一郎 (10 回目)
L. 赤堀肇紀 (7 回目)
L. 森幹生 (5・6 回目)

L. 芹澤明寛 (5 回目)
L. 後藤行宏 (4 回目)
L. 小原嘉弘 (2 回目)
L. 金井隆直 (初回)
L. 井上孝喜 (初回)

環境保全委員会担当例会

3 月第 2 例会



1 小原会長による開始の挨拶。例会は雨天の中、原地区センターにて行われました。2 会員 24 名による植栽。坂の地面を丁寧に 1 本ずつ行う植栽はなかなか大変な作業でした。3 環境保全委員会によるローア。4 植栽に選ばれた芝桜。きれいな色の花が咲き始めています。

3月21日、原地区センター・2階第3会議室にて、環境保全委員会による3月第2例会が行われました。事業である植栽は雨天のため3月24日に延期となりました。小原会長の開始のゴングとともにスタート。環境保全委員会によるローアまでが21日に行われ、3月24日晴天の中、今度は植栽事業が行われました。植田最終処分場にてメンバー24名により行われた二回目となる植栽が完了しました。



5 静岡新聞記者による取材対応。3月26日付の静岡新聞に植栽の記事が掲載されました。

6 看板も立ち、植栽の完了です。7 メンバーによる記念写真。お疲れ様でした。

2019-2020 年度

役員予定者

会長	L. 井上孝喜
前会長	L. 小原嘉弘
第一副会長	L. 塩崎享一
第二副会長	L. 大川祐輝
幹事	L. 徳田和人
会計	L. 森本耕太郎
ライオン・テーマ	L. 橋本賢一
テール・ツイスター	L. 服部徹一郎
会員理事	L. 大川祐輝
2年理事	L. 前田利定
2年理事	L. 外 信之
1年理事	L. 芹澤明寛
1年理事	L. 赤堀肇紀
監査委員	L. 市川洋一
監査委員	L. 杉山由博

委員長予定者

出席委員長	L. 川口博永
計画大会委員長	L. 土井宣博
MC 委員長	L. 小澤敦広
財務会則委員長	L. 高橋 寛
会員 (GMT) 委員長	L. 大川祐輝
視力福祉委員長	L. 長岡重弘
環境保全委員長	L. 石原敏行
青少年委員長	L. 小野弘人
LCIF 委員長	L. 後藤行宏
YCE 委員長	L. 北村清一郎

CLUB REPORT

クラブスローガンのもと、奉仕活動を “温故知新” 広げよう真心の奉仕

青少年委員会、そして環境保全委員会が大いに活躍した1-3月。沼津市をよりよい街にするため、多くの会員が活動しました。

寄贈

童話集「童話の花束」400冊を
沼津市教育委員会に寄贈



3月22日、沼津市役所教育長室にて、小原会長から服部裕美子教育長に「童話の花束」が手渡されました。小原会長は記者に対し、「情操教育の一環として役立てていただきたい」と思いを伝えていました。

沼津ライオンズクラブと「童話の花束」



静岡新聞 平成31年3月24日付

沼津ライオンズクラブではL土屋英治発案により沼津市教育委員会への「童話の花束」の寄贈が8年前より始まりました。「活字離れしている子供たちに読んでもらい、また自ら童話を書いてみようと思う青少年の指導育成」を願い事業として継続させております。今回の寄贈で9回目、9年目を迎えます。

青少年

第5回NPO法人沼津体育協会会長杯 学童軟式野球大会開催

3月3日、沼津市営球場にて学童軟式野球大会開会式が行われました。3～16日まで行われた野球大会は、天候にも恵まれ、学童たちによるナイスプレイが続出しました。



5LC

三島ライオンズクラブ チャーターナイト 55周年



3月3日、三島大社にて三島ライオンズクラブチャーターナイト55周年の記念式典が執り行われました。スポンサークラブである沼津ライオンズクラブからは三役が出席し、感謝状をいただきました。

「童話の花束」とは…

全国から「心のふれあい」をテーマにしたオリジナルの童話作品を募集し、受賞作品をまとめた童話集を「童話の花束」として毎年1回発行（JXTGグループ発行）。出版した本の売上金のすべてを「JXTG 童話基金」とし、全国の児童福祉施設の子供たちの自立支援、里親家庭などで暮らす子供たちの進学支援に寄付されています。



献 眼

尊い献眼がなされました

献眼登録をされていた方がご逝去されました。ご遺族の方により角膜摘出が行われ、故人のご遺志である献眼が実施されることとなりました。

「尊い献眼をして
いただきました
ご冥福をお祈り
いたします」



故 小島喜久子様 献眼

3月26日ご逝去

3月28日感謝状贈呈

環境保全

植栽した芝桜が満開を迎えました

3月24日に会員24名により植栽した芝桜。4月上旬に満開を迎えました。国道沿いの斜面が紫がかったきれいなピンク色に染まり、植田の最終処分場がこれまでとは違う風景へと生まれ変わりつつあります。沼津市から委託を受け実現した芝桜の植栽事業。ゴミ処理場というイメージを変えたい、との思いから継続事業として続けて参りました。丹精込めて植えた苦労が少しずつ実ってきています。



植栽前



植栽後



現在の芝桜は1440本ほど。継続事業として今後2000本を目指し、来年も実施の予定です。

満開の芝桜。4月16日撮影

